



←江戸川べりの小さな
ほこらに植えられている
河津桜が咲いた。春一
番にも散ることなく花は
しっかり枝にしがみつい
ていた。

→春めいてきたせい
かお客さんも、グルー
プが多くなった。



春一番が吹いた十七日の金曜日は気
温も上昇して二十〇を越えた。翌日の
土曜日、日曜日は十〇も下がって二月
らしい気候に戻ったせいであらう。おも
わず身が縮こまった。

「矢切もすっかり国際化したねえ」

矢切の渡しにおりて行ったら、いき
なり舟頭さんが声をかけてきた。

そういえば稀勢の里が優勝して二十
年ぶりの日本人横綱昇進を決めた大相
撲が終わった一月下旬からここまで、
アメリカ大統領の話題で盛り上がり、
今週は北朝鮮・中国・マレーシアと話
題はアジアに戻った。

月曜日にいきなり北朝鮮最高指導者
の兄・金正男（キム・ジョンナム）氏
がマレーシアのクアラルンプール空港
で暗殺されたニュースが飛び込んでき
た。その日からというもののアメリカ大
統領・トランプ氏の話題なんか吹っ飛
んでしまった。

テレビもラジオも新聞も連日のよう
に金正男の話題でもちきりだ。そんな
わけで舟頭さんと私とヤッさんの三人
がそろうと話はもつぱら暗殺問題だ。

今週のクマ

→矢切の渡しに来るとクマは自由だ。ほかの犬が来ないかぎり……。



→シュンランの花芽がやっと立ち上がった。来月中中あたりには花を咲かせるだろう。そうすると本格的な春が訪れる。



「まったくひどいねえ、あの国は……」
舟頭さんがいうと、

「まったく、とんでもない国だ」
ヤッさんがこたえる。

「それにしても、あの女たちはなんだろうねえ」

私には、かんたんには、まるでゲームでもするように人殺しをした二人の女が理解できない。

「犯人は私たちですといわんばかりに目立ってる」

「ひよっとしたらオトリかもなあ」

「一〇〇ドルで頼まれたとか、いたずらだとか、映画を撮るとか、むちやくちやなこといってる」

「そうになると、やっぱりかく乱かなあ」

「どっちにしたって金正男は殺された」

「そんなことをして誰が特をするかだ」

「そりゃ北朝鮮の金正恩（キム・ジョンウン）だろね」

「自分が粛清されて兄貴が最高指導者にとつてかわるといふ心配がなくなる」

「つていうことは暗殺させたのは北朝鮮とうことかな、やっぱり」

話はずきない。謎は深まるばかりだ。

矢切も国際的になったのだろうか？